

令和元年度 市町別総合評価についての情報交換

目 次

- (1) 情報交換する市町の抽出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 情報交換する市町の概要
 - ① 伊賀市・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 (資料 2 - 2、25-1参照)
 - ② 川越町・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 (資料 2 - 2、11-1参照)
 - ③ 尾鷲市・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 (資料 2 - 2、26-1参照)

1. 令和元年度みえ森と緑の県民税 市町別総合評価

(1) 情報交換する市町の抽出

市町別総合評価において、多くの委員から提言（アドバイス）のあった3市町を抽出

手順1：最も多い、8人の委員から総合的な提言（アドバイス）があった市
「伊賀市」を抽出

手順2：7人の委員から総合的な提言（アドバイス）のあった7市町のうち
年少人口割合と森林率が対極的な「川越町」と「尾鷲市」を抽出

多くの委員から総合的な提言（アドバイス）のあった市町の基礎情報

	総合的な提言の あった委員数	年少人口割合 (%)	森林率 (%)
県平均	—	12.4	64.0
四日市市	7	12.6	14.0
鈴鹿市	7	12.9	18.0
いなべ市	7	12.3	58.0
木曽岬町	7	9.7	0.0
川越町	7	15.0	0.0
多気町	7	12.8	57.0
伊賀市	8	11.4	61.0
尾鷲市	7	9.1	92.0

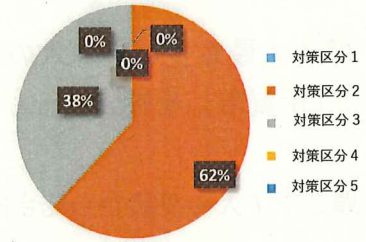
第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	伊賀市	三重県
人口（人）	87,416	1,782,190
年少人口割合（%）*1	11.4%	12.4%
森林面積（ha）	33,951.95	372,352.55
民有林面積（ha）*2	32,598.85	348,833.49
森林率（%）	61.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	11.9	10.1

対策区分別事業費割合



- *1：全人口に占める15歳未満の人の割合
- *2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
- *3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）					内当年度交付金額	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	3	親子ではじめる木育推進事業	2,330,440	2,330,440			2,330,440			2,330,440
2	2	みんなの里山整備活動推進事業	6,071,000	6,071,000		6,071,000				6,071,000
3	3	伊賀の森っこ育成推進事業	2,391,952	2,391,952			2,391,952			2,391,952
4	3	地域の森と緑のつながり支援事業	800,000	800,000			800,000			800,000
5	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3,882,925	3,882,925		3,882,925				3,882,925
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	577,867	577,867			577,867			577,867
7	-	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,553,816	0						5,553,816
計			21,608,000	16,054,184	0	9,953,925	6,100,259	0	0	21,608,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量（ha）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	67.34	19,987,000	19,987,000	現地調査及び調整伐等
森林再生力強化対策事業	-	-	-	-

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当市の森林面積率は、61%であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図るため、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進しているとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により得られた効果	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で広がっている。未利用間伐材バイオマス利用推進事業においても、木材搬出量が年々増加傾向にあり、森林所有者が間伐作業へ携わる機会の増大に貢献している。木育関連事業で実施したアンケートでは、木のぬくもりの良さについて回答する意見も見受けられ、森林の持つ重要性についての周知が進んでいる。
情報発信への取組	市民全体に周知を行うため、市内で放映されるCATV（伊賀上野ケーブルテレビ）を活用して、「みえ森と緑の県民税」の目的や必要性を周知した。伊賀市では、木育から森林整備まで幅広く事業展開している市町交付金事業の全事業について紹介し、中でも、「森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）」の紹介では、生徒がプレゼンテーションしている様子の写真や完成品の写真、配置箇所等を説明し、県民税を身近に感じられる内容で周知した。また、市内の農産物等イベント（菜のはなまつり、海の幸・山の幸物産まつり等）では、三重森づくりサポートセンターや三重県伊賀農林事務所とともに、木育ブースの展示・おもちゃ体験の実施や、みえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施したほか、伊賀市役所庁舎内では、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示をし、県民税の周知に努めた。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）	
<ul style="list-style-type: none"> ・森を育む人づくりでは、新生児から中学生をはじめ、幅広い年齢層に事業を展開されていることは評価できます。 ・意欲的に取り組まれていると評価できる。なるべく住民を巻き込む取り組みとしている点がよいと思う。 ・引き続き、地域の方たちの主体的で持続的な取り組みを促すような施策を、考えてほしい。 ・子どもの誕生から、市内全域での里山活動、市内小学校での森林環境学習、バイオマスエネルギー利用、イベントでの周知、高校生と連携した活動など、森林環境の保全と利用の多岐にわたる取組を先進的に行われています。今後、新しい主体との連携や、現状関係性のある主体間のコラボレーション等を行い、より効果的で市民が参加しやすい取組への発展を期待します。 ・情報発信度について、さまざまな媒体を活用している点、またみえ森と緑の県民税についてアンケートなどを実施している点が評価できた。 ・行政チャンネルでの放映による情報発信は地域住民に広く周知できる。 ・伊賀市の取り組みは、生まれたばかりの子供から児童学生、市民一般に、また観光客にも周知を工夫しておられ他の市町でも紹介できる事例多く評価します。 ・木育や森林環境教育事業は素晴らしい。 	

6. 事業別評価表

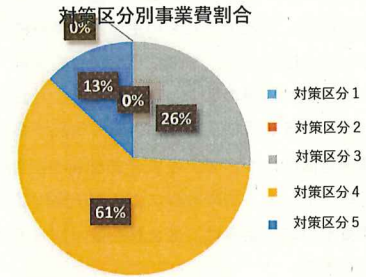
番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	親子ではじめる木育推進事業	有効性	3.5	A
			効率性	3.1	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.3	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	みんなの里山整備活動推進事業	有効性	3.5	A
			効率性	3.2	B
			公益性	3.5	A
			情報発信度	3.0	B
3	3. 森を育む人づくり	伊賀の森っこ育成推進事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.3	B
4	3. 森を育む人づくり	地域の森と緑のつながり支援事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.3	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.1	B
5	2. 暮らしに身近な森林づくり	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.0	B
6	3. 森を育む人づくり	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	有効性	3.7	A
			効率性	3.4	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.2	B

第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	川越町	三重県
人口（人）	14,888	1,782,190
年少人口割合（％）*1	15.0%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha)*2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	0.3	10.1



- *1：全人口に占める15歳未満の人の割合
- *2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
- *3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)					内当年度交付金額	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	3	川越中学校自然教室	1,065,696	701,236			701,236			701,236
2	3	川越北小学校自然教室	760,408	559,960			559,960			559,960
3	3	川越南小学校自然教室	662,258	511,780			511,780			511,780
4	4	川越中学校美術室・技術室・机・椅子整備事業	3,591,000	3,591,000				3,591,000		3,591,000
5	5	川越北小学校シンボルツリー樹形整形事業	880,000	880,000					880,000	880,000
6	4	ふれあい広場ベンチ整備事業	594,000	525,024				525,024		525,024
7										0
計			7,553,362	6,769,000	0	0	1,772,976	4,116,024	880,000	6,769,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	川越町には森林が無いため、直接的な事業ではなく、木との触れ合いを通じて、木について学ぶきっかけや、森林や木材への理解を深めるた、自然教室や学校及び公共施設の木質化を重点に進める。
事業実施により得られた効果	自然教室において、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ習慣が身に付きました。また、木製品に触れることにより、温かみや木の肌触りと香りを感じることができ、木材利用に対する理解が深まった。
情報発信への取組	当町HPを活用し町民への情報提供を行いました。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・小中学校での活動について、事後のアンケートなどで、効果を検証していただくことを検討していただければと思います。
- ・総じて良好な取り組みだが、5についてはその有効性や公益性がよくわからない。もし、樹形整形が安全上の理由（奥に電線が見えているので）なども考慮されているのであれば、その旨を明記すべき。木についての愛着・理解を深めるという理由が現状ではみえにくい。
- ・各学校での事業は、児童・生徒だけではなく保護者の認識も深まるよう、周知に努めてほしい。
- ・自然教室での体験や学びを、学校教育においてはどの教科や他行事と結びつけ、森林環境教育カリキュラムをどう作るかが次の段階ではないでしょうか。机・椅子の整備やシンボルツリーをによる森林資源を近しく感じられる工夫がとてもよいです。この体験や学び、県産材を使った備品の調達等の取組を包括的にとらえ、児童生徒が何をどう学ぶかというねらいを明確にして取り組むことができるとよいのではないのでしょうか。
- ・情報発信度で本事業のロゴマークの活用も図ってほしい。
- ・川越中学校に対する事業については、机等の整備と併せて自然体験ではなく、学校内でのセミナー等授業の一環として「森を育む人づくり」を企画することのほうが効果的であると思う。川越北小学校も同様。
- ・森林の無い町であっても自然体験と木材利用を進めておられることを評価している。
- ・自然体験活動の中に木材利用との結びつきについて考えられるような活動を取り入れてほしい。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	3. 森を育む人づくり	川越中学校 自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
2	3. 森を育む人づくり	川越北小学校 自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
3	3. 森を育む人づくり	川越南小学校自然教室	有効性	3.1	B
			効率性	3.0	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
4	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	川越中学校美術室・技術室 机・椅子整備事業	有効性	3.1	B
			効率性	2.9	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	2.9	B
5	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	川越北小学校シンボルツリー樹形整形事業	有効性	3.0	B
			効率性	2.8	C
			公益性	2.9	B
			情報発信度	3.0	B
6	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	ふれあい広場ベンチ整備事業	有効性	3.0	B
			効率性	3.0	B
			公益性	2.8	C
			情報発信度	2.5	C

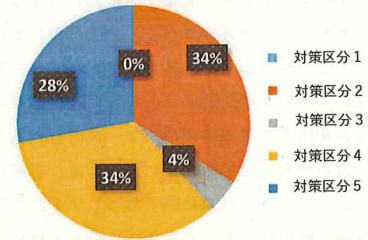
第16号様式

令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	尾鷲市	三重県
人口（人）	16,567	1,782,190
年少人口割合（％）*1	9.1%	12.4%
森林面積(ha)	17,703.01	372,352.55
民有林面積(ha)*2	14,933.86	348,833.49
森林率(%)	92.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）*3	6.0	10.1

対策区分別事業費割合



*1：全人口に占める15歳未満の人の割合
 *2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
 *3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費(円)	交付金充当額(円)					内当年度交付金額	
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4		対策区分5
1	2	学校危険木除去事業	2,498,029	2,498,029		2,498,029				2,498,029
2	2	人家裏危険木伐採事業	979,000	979,000		979,000				979,000
3	5	中村山公園整備事業	2,860,000	2,860,000					2,860,000	2,860,000
4	3	クップ普及推進事業	471,199	471,199			471,199			471,199
5	4	木とふれあう学校環境づくり事業	2,395,160	2,395,160				2,395,160		2,395,160
6	4	木とふれあう木育活動推進事業	1,100,000	1,100,000				1,100,000		1,100,000
7		みえ森と緑の県民税基金積立	788,612	0						788,612
計			11,092,000	10,303,388	0	3,477,029	471,199	3,495,160	2,860,000	11,092,000

3. 令和元年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(m)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業	1,101(m)	677,213	677,213	獣害防止施設等整備

4. 事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	近年の災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものと考えている。また、危険木を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考え、防災と森林教育の観点から事業の選定と実施している。
事業実施により得られた効果	小中学校内や人家裏、公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりに一定の効果が得られたと考えている。この点については、事業実施にあたっての住民の反応等を見ても、好意的な意見であった点からも、安心安全の確保に十分な効果が得られたと感じている。 木製遊具の設置や伐採した危険木の再利用については、木の温もりに触れる機会を提供することで木育に繋げつつ、小学校については、木工体験や森林に関する説明を聴く機会を設けることで、木の循環について学ぶことが出来たと思う。
情報発信への取組	木とふれあう学校環境づくり事業については、県民税当初から実施されていることから多くのマスコミにも来ていただいており、体験の場をそのまま情報発信の場として活用した。また、学校だよりへの掲載等、他の保護者にも知っていただけるようにした。 また、その他の事業についても、市の広報誌やホームページ、公園への看板設置等により広く住民にPRを行った。

5. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）

- ・地元林業の説明からマイ機の製作まで、一連の事業内容は効果的で評価できます。
- ・必要な事業について取り組まれていると評価する。特に1は危険木除去と学習、伐採後の樹木の活用まで組み合わせて事業効果を高めている点がよい。
- ・学校の危険木の伐採と伐採した木の利用、地域の危険木の伐採、公園の整備と伐採した木を使っての子ども達の体験、保育園の三重県材を使った備品やマイ机、そしてクップ。全ての取組をつなげて、市民に伝える工夫があるといえます。木と人のつながりをどう見せていくか、を伝えていただきたいです。それぞれの取組に工夫があって、その工夫の共通な価値も伝えていただきたいです。
- ・木のぬくもりを感じられる机や椅子を自分で作成するというアイデアは革新的でした。他の地域もぜひ活用してもらいたい。
- ・人家裏危険木伐採事業の補助率を設定することは、自治会等での実施後の管理等を継続させることには良い方法だと思う。
- ・事業実施後の配布チラシやアンケート調査実施は今後の事業実施のためにも必要であり良いことである。
- ・『クップ』の普及は良いのですが、この県民税の使われ方には疑問です。
- ・明細書がわかりやすい。他の市町は参考にすべきである。
- ・危険木を活用したり、机椅子の導入と森林体験学習を組み焦る事業はすばらしいと感じた。

6. 事業別評価表

番号	対策区分	事業名	評価の視点	平均点	評価
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	学校危険木除去事業	有効性	3.4	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	2.9	B
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	人家裏危険木伐採事業	有効性	3.2	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.1	B
			情報発信度	3.0	B
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	中村山公園整備事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.1	B
			公益性	3.0	B
			情報発信度	3.0	B
4	3. 森を育む人づくり	クップ普及推進事業	有効性	3.2	B
			効率性	2.9	B
			公益性	2.9	B
			情報発信度	2.9	B
5	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	木とふれあう学校環境づくり事業	有効性	3.7	A
			効率性	3.2	B
			公益性	3.3	B
			情報発信度	3.4	B
6	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	木とふれあう木育活動推進事業	有効性	3.3	B
			効率性	3.2	B
			公益性	3.2	B
			情報発信度	3.0	B

